

5	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104006	根圏における生物共生機能の解明	鈴木 和夫（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）	A
（意見等） 野外調査、野外実験を主体にする「森林における根圏共生系の全体像把握」「根圏微生物間の相互作用」については成果があがってきているが、大型ライゾトロンを用いた「外生菌根菌群集」「根圏共生系の機能動態」に関する研究に関しては、今のところ大きな成果があがっているとはいえない。大型ライゾトロンを用いた研究は、成木における外生菌根共生に関する成果が期待できる課題であるので、今後は一段と力を入れて重点的に推進する必要がある。それ以外は学術的に優れた成果が得られており、現行のまま推進すればよいと思われる。				
6	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104007	クロマグロの資源増殖に関する生物・生化学的研究	熊井 英水（近畿大学・農学部・教授）	A
（意見等） クロマグロは、産業的に重要な魚種であるばかりでなく、学問的にも興味深い研究対象である。クロマグロの完全養殖ができたことは産卵個体出現率が低いとはいえ極めて高い学術的並びに水産学的意義がある。本種を仔稚魚から親魚まで育てられるのは本研究チームだけであり、得られた知見は極めて貴重なものといえる。ただ本研究は未だ手探りの部分も多く、研究期間の2年間の成果に限れば評価は少し低くなる。難度の高い水産学上の未知の分野を開拓しているため、本研究の目的に沿ったデータがそう容易には得られないのは理解できるが、もう少し焦点を絞り、全力をあげて目的に向かって邁進し、今後の一層の発展に期待したい。				